

宮野地区 社協だより

第112号

令和7年10月1日
宮野地区
社会福祉協議会
宮野地域交流センター内
電話 083-928-0255

歳末助け合い運動十二月
新たな年を迎える時期に支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう十二月全国一斉に行われます。

共同募金が十月一日から全国でスタートしました。これは、それぞれの町で「やさしい気持ち」を集める活動です。一人ひとりのやさしさが宮野地区をもっとやさしくします。宮野地区で集まった募金の約六十パーセントは宮野地区の福祉活動に使われます。

各家庭からの戸別募金、人の集まる場所で行う街頭募金、企業の法人募金、職場で行う職域募金、児童生徒に募金を呼びかける子ども会募金や、イベントを企画して行う募金など様々な方法で、ボランティアの方々のご協力をいただき実施しています。

「じぶんの町を良くするしくみ」
赤い羽根共同募金運動
十月～十一月

開催日 原則毎月第3土曜日
開催時間 10:30～13:00
対象者 児童(宮野地区内在住)
内容 学習(青少年健全育成連絡協議会)
絵本の読み聞かせ(図書ボランティア)
食事(カレーライス&デザート等メニューは毎月かわります)
※その他の体験学習:昆虫教室やサツマイモの苗の植え付けと収穫



みんな来てね、
宮野なかよしクラブ(子ども食堂)

テーマ募金
宮野なかよしクラブ(子ども食堂)
令和八年一月～三月

昨年度に続き今年度もテーマ募金団体と認められ、募金活動ができます。

チラシを町内に回覧し、社協の窓口にも置きます。

郵便局で無料で振込みができますので、ご協力よろしくをお願いします。



開催日 第2・4木曜日
開催時間 14:00～15:30
会場 子育てサロン
あの倉庫
(JA横)

お米の支援をお願いします!
みやのフードバンクでは地域の方々から食糧(主に米、季節のお野菜、缶詰等)を寄贈していただいています。食糧特にお米が不足しています。ご連絡をいただけたら受取に伺います!!!
詳しくは民生・児童委員、主任児童委員、地区社協にお尋ねください。

「第5次宮野地区地域福祉活動計画」 推進大会のご案内

日時 11月1日(土) 9:00～
会場 宮野地域交流センター
内容 推進大会(予定)
表彰
福祉講演
事例発表



※表彰者の推薦書提出に関し、各町内の町内会長、社協理事、民生委員、福祉員、サロン代表者等の皆様にお礼を申し上げます。ありがとうございました。



愛の花束

次の方から、善意のご寄付を賜りました。厚くお礼を申し上げます。ご芳志は宮野地区の福祉事業のために大切に活用させていただきます。

令和七年八月二十日～九月十五日

(敬称略)

香典返し・忌明け

藤井 和子(七房) 御夫君 良二様
岡本 秀司(岩杖) 御母堂 裕子様

貸出します。ご利用ください



ポータブル拡声器



大判かるた



ボールヒットゲーム



トランプ

大判かるた・トランプ・ボールヒットゲーム・ポータブル拡声器などたくさんのお品を購入しました。サロン、子ども会等でご利用ください。

民生委員 令和7年度県外視察研修
八月十八日～十九日、浜田市の特別養護老人ホーム偕生園と、社会福祉法人いわみ福祉会を訪問しました。

偕生園では、要介護3以上の利用者を対象に、十人程度の少人数グループをひとつの生活単位として、自宅に近い環境できめ細やかな介護サービスが行われていました。

いわみ福祉会では、障害者就労支援施設「桑の木園」を見学しました。そこでは、農園芸・創作活動などにより日々の生活を学び、地域との交流を通じて最終的に地域移行(一般企業で就労し、自立した生活をする)であるとのこと。

同会の就労支援施設「神楽シヨップくわの木」・「手作りパン製造販売」も見学し、応援も含めパン等を購入しました。

今回の特養、障害者施設は、そこで働いている人が温かく感じられました。民生児童委員、主任児童委員として充実した研修であったと思います。



偕生園にて



神楽で使う面や衣装を障害者が創作

サロンだより

ふれあいいきいきサロンさくら(泉寮、土居地)

毎月第一木曜日午後一時から二時三十分まで。参加者は十五名くらいです。内容は、トランプゲーム、脳トレ(ニンベン、サンズイ、マダレのついた漢字いくつあるかな?) 音楽鑑賞(オカリナ演奏、スコップ三味線)、県大生の特別プログラム、DVD講話、認知症や生活習慣病予防の話など。頭も体も使いながら、飲物と美味しいケーキをいただきます。勉強になったね。との声を聞くとスタッフも喜びを感じます。



いきいきサロン下恋路

毎月第四火曜日の午前中に開催し、今年十月で丸九年となります。参加者は平均十七人で、二十人以上になることもあります。内容は、お助け隊、小物づくり、各種講習、ゲーム等幅広いジャンルで開催しています。最後には、茶話会や脳トレゲーム、防犯講習等も行っています。また、八月二十六日には、初めて下恋路子ども会と合同でゲームやお菓子作りをしました。今後ともスタッフで知恵を絞って楽しいサロンを運営していきたいと思っています。

※毎週水曜日午前中『いきいき百歳体操』をやっています。



災害時要援護者防災マップづくり研修会

企画・広報部会



八月三日(日)宮野地域交流センターにおいて、民生委員、福祉員、町内会長、社協理事、関係者等一〇名の参加により防災マップづくり研修会が開催されました。

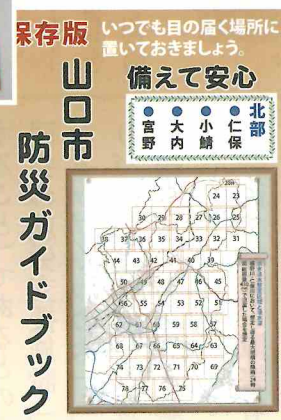
「梅雨・秋雨前線と台風による気象災害」と題した、山口大学名誉教授 山本晴彦氏の講演に始まり、マップ作成の必要性と作成についての説明があり、各町内に分かれ、ハザードマップを用いて町内の危険箇所(浸水、土砂等)の確認と要援護者や支援者、関係者等の自宅を地図上に落とし、避難経路を書き込む等マップ作成を行いました。



山本晴彦氏



記念品



六月十九日(木)山口県身体障害者団体連合会事務局長の武居ひとみさんをお招きし「あいサポーター研修」を行いました。

障害がある人もない人もみんなが暮らしやすい社会を一緒につくっていく仲間を「あいサポーター」と呼んでいます。

研修では、様々な障害の特性や、障害のある方が困っていること、障害のある方に必要な手助けやお手伝いの方法などについて学びました。

今後活動する上で大変有意義なお話でした。

福祉講座(あいサポーター研修)

障害者福祉部会



障害を知り、共に生きる

誰もが暮らしやすい社会を目指して
☆この冊子で研修を受けました

まず、知ることからはじめましょう

山口県

生活環境部会

生活環境部会では、毎月国道9号線の地下道等の清掃活動を行っています。

今回は、8月28日(木)宇部市環境保全センターゴミ処理施設及びリサイクルプラザを視察しました。

ゴミ処理施設及びリサイクルプラザは宇部市のコンセプトでもある「緑と花と彫刻のまち」を残すための取り組みをしているとのことでした。

最近では処理中にリチウムイオン電池による発火、火災トラブルが発生するとのこと、分別していただくように広報をしているそうです。

生活環境部会として宮野地区内の高齢者のゴミ問題や、分別の回覧を毎年発行していますが、これからも継続した取り組みにしたいと今回の研修を通して改めて感じました。



宇部市リサイクルプラザにて

令和7年度
5部会が
視察研修に
行きました

高齢者福祉部会・障害者福祉部会

7月23日(水)に下関市にある貝光園の「特別養護老人ホーム」と「障害者支援施設」に行きました。

特別養護老人ホームでは、在宅での生活が困難となった高齢者が、家庭的な雰囲気の中で介護サービスを受けていますが、そのためには介護職の確保が大変で、今は職員全体の4分の1は外国人(インドネシア等)だそうです。

障害者支援施設では、常時介護が必要な障害者が入所し、利用者一人ひとりの個性や障害に合わせた支援が行われていました。

入所した場合の利用料や待機者の状況などの質問に対し、施設長は丁寧に回答してくださいました。今回の視察で施設の事業の内容や現場を知ることができました。



企画広報部会・児童福祉部会

7月8日(火)に下関市にある社会法人中部少年学院の「乳児院なかべ学院」を視察しました。諸事情(経済的困窮・虐待・育児放棄等)により乳幼児(0歳~3歳)20名が生活しています。

温かい家庭的な養育をめざした運営がされており、入居中の乳幼児のあどけない笑顔、保育士を見上げる屈託ない姿が見られました。また親に対しても相談等の支援体制が整っています。

過去・現在・未来を通して健全な方向に向かって努力されている姿に感動しました。

